

令和3年度青少年育成町民会議主催

# 有田川町少年メッセージ

## 講評

少年メッセージ審査委員長

八幡中学校校長 柝崎 正幸

有田川町少年メッセージは、中学生が日頃の生活の中で感じた、家族や友人、地域の人々に対する思いや感謝、あるいは感動したり感銘を受けたりした経験、さらには将来への決意などを自分の言葉で表現することを通じて、同世代の青少年が互いに理解し合い、大人が中学生への正しい理解を深め、郷土の未来を担う若い世代の育成を図ることを目的として行っています。

今年には新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、4校の町立中学校から全619作品の応募があり、そこから選出した25作品から審査を行いました。その中から優秀作品を選び、8月21日(土)には優秀作品の発表会を開催しました。作品は、どれも中学生らしいはつらつとした感性豊かな文章でつづら

れていました。今年は特に新型コロナウイルス感染症に真摯な対応をする医療従事者やSDGs(持続可能な開発目標)に対する思いをつづつたと思える文章が多数を占めていました。

優秀作品に選ばれた生徒の作品は、自分の経験したことやニュースや本を見聞きした体験を通して感じたり、考えたりしたことなどを素直で純粋な熱い言葉で表現していました。その表現に感動し勇気をもらいました。応募いただいた生徒の皆さまに、改めて大きな拍手を送りたいと思います。

全国的に、新型コロナウイルス感染症の拡大が心配されますが、ワクチン接種がさらに進み、感染が終息に向かうことを願います。

## 優秀作品 (順不同・敬称略)

「完璧主義と戦う私」

吉備中学校1年

江川 好香

「私の将来の夢」

吉備中学校2年

堂前 紀恵

「言葉の大切さと危険さ」

吉備中学校3年

栗栖 奈々

「感謝とは」

吉備中学校3年

中山 結月

「新たな未来へ向かって」

石垣中学校2年

畑中 望来

「頑張らないといけない時」

八幡中学校1年

今西 由美

「背中を押してくれた

あるニュース」

八幡中学校3年

亀井 楓花

